下記の**A**，**B**に答えよ。（30 点）

A　次の問 **1** ～ **3** について，最も適切な答を記せ。（12 点）

1　次の文のうち，誤りを含むものを 2 つ選べ。

イ　初代ローマ教皇は，ガリラヤの漁夫出身でローマで伝道活動を行った使徒パウロである。

ロ　ローマ教皇レオ 1 世は，フン人やヴァンダル人がローマに侵入した際，彼らと会談してローマを破壊から守った。

ハ　ローマ教皇グレゴリウス 1 世は，アングロ=サクソン人などゲルマン諸族への伝道に努めた。

ニ　ローマ教皇レオ 3 世は，フランク王国のカールにローマ皇帝の帝冠を与えた。

ホ　ローマ教皇ヨハネス 12 世は，ザクセン朝のハインリヒ 1 世に加冠し，初代神聖ローマ皇帝に任じた。

2　次の文のうち，誤りを含むものを 2 つ選べ。

イ　ローマ教皇グレゴリウス 7 世は，聖職叙任権をめぐって神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世と争った。

ロ　ローマ教皇カリクストゥス 2 世は，神聖ローマ皇帝フリードリヒ 1 世との間にヴォルムス協約を締結した。

ハ　ローマ教皇インノケンティウス 3 世は，“教皇権は太陽であり，皇帝権は月である”と述べたとされる。

ニ　イギリス国王ヘンリ 3 世は，カンタベリ大司教の任命をめぐり，ローマ教皇インノケンティウス 3 世と争った。

ホ　フランス国王フィリップ 4 世は，ローマ教皇ボニファティウス 8 世に対抗するため三部会を召集した。

3　次の文のうち，誤りを含むものを 2 つ選べ。

イ　ローマ教皇ウルバヌス 2 世は，クレルモン宗教会議に際し，イスラーム圏への遠征を提起した。

ロ　ローマ教皇アレクサンデル 6 世は，海外でのスペイン・ポルトガルの領土分割に介入した。

ハ　ローマ教皇パウルス 3 世は，イエズス会設立を容認し，トリエント公会議を召集した。

ニ　ルネサンス期に学芸を保護したことで知られるフッガー家出身のローマ教皇レオ 10 世は，ドイツで贖宥状を販売した。

ホ　ローマ教皇ユリウス 2 世は，九十五カ条の論題を提起したドイツの神学者ルターを破門した。

B　次の空欄 a ～ f に当てはまる最も適切な語句を記せ。(18 点)

1　カロリング朝の［ a ］は，8 世紀半ばにランゴバルド王国を攻撃し，かつて東ゴート王国の首都であった［ b ］などを獲得してローマ教皇に寄進した。

2　14 世紀に“教皇のバビロン捕囚”を経験したローマ=カトリック教会は，さらにその後ローマと［ c ］の 2 カ所に教皇が立てられるという大シスマ，すなわち教会大分裂の時代を経験した。しかし，1414 年に始まった［ d ］公会議により，ローマ教会は再統一された。

3　ローマ教皇ピウス 7 世は，1801 年にフランスのナポレオンとの間で宗教協約（コンコルダート）を結んだ。これと同様の協約は，1929 年にローマ教皇ピウス 11 世とイタリア首相［ e ］との間でも結ばれた。この［ f ］条約によって，1870 年にイタリアが教皇領を占領して以来続いていたイタリア王国とローマ教皇庁との対立が解消された。

総得点 39/50

1

1 4/4 A 1 (○ イ) (○ ホ)

2 2/4 2 (○ ニ) (✓ ホ) → ホは正しい。ヴォルムス協約を結んだ神聖ローマ皇帝はハインリヒ5世なので、ロが誤り。

3 2/4 3 (✓ ロ) (○ ニ) → ロは正しい。ルターを破門した教皇はレオ10世なので、ホが誤り。

4 0/3 B a (✓ カール大帝) 774年にランゴバルド王国を滅ぼしたのはカール大帝だが、8世紀半ばにランゴバルド王国を攻撃して獲得した地を教皇に寄進したのは、ピピンである。

5 2/3 b (△ ラヴェンナ地方) → 問題文に「東ゴート王国の首都」とあるので、「ラヴェンナ」と答えること。(−1)

6 3/3 c (○ アヴィニョン)

7 0/3 d (✓ トリエント) トリエント公会議(1545〜63)は、宗教改革に対抗してカトリック側が開催した公会議である。教会大分裂に対処するために1414年から開かれたのはコンスタンツ公会議である。

8 3/3 e (○ ムッソリーニ)

9 3/3 f (○ ラテラン)

〈合格への一手〉
今回はローマ教皇をテーマに出題しましたが、各時代・地域の重要事項の理解にまだ足りない部分があるようです。解答、解説での復習に加えて、失点した問題の時代・地域の歴史をもう一度確認しておきましょう。

世界史

▲ ②谷折り　▲ ①山折り

問題

《ローマ教皇をめぐる歴史》

下記のA，Bに答えよ。（30点）

A　次の問1～3について，最も適切な答を記せ。（12点）

1　次の文のうち，誤りを含むものを2つ選べ。

イ　初代ローマ教皇は，ガリラヤの漁夫出身でローマで伝道活動を行った使徒パウロである。

ロ　ローマ教皇レオ1世は，フン人やヴァンダル人がローマに侵入した際，彼らと会談してローマを破壊から守った。

ハ　ローマ教皇グレゴリウス1世は，アングロ=サクソン人などゲルマン諸族への伝道に努めた。

ニ　ローマ教皇レオ3世は，フランク王国のカールにローマ皇帝の帝冠を与えた。

ホ　ローマ教皇ヨハネス12世は，ザクセン朝のハインリヒ1世に加冠し，初代神聖ローマ皇帝に任じた。

2　次の文のうち，誤りを含むものを2つ選べ。

イ　ローマ教皇グレゴリウス7世は，聖職叙任権をめぐって神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世と争った。

ロ　ローマ教皇カリクストゥス2世は，神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世との間にヴォルムス協約を締結した。

ハ　ローマ教皇インノケンティウス3世は，“教皇権は太陽であり，皇帝権は月である”と述べたとされる。

ニ　イギリス国王ヘンリ3世は，カンタベリ大司教の任命をめぐり，ローマ教皇インノケンティウス3世と争った。

ホ　フランス国王フィリップ4世は，ローマ教皇ボニファティウス8世に対抗するため三部会を召集した。

3　次の文のうち，誤りを含むものを2つ選べ。

イ　ローマ教皇ウルバヌス2世は，クレルモン宗教会議に際し，イスラーム圏への遠征を提起した。

ロ　ローマ教皇アレクサンデル6世は，海外でのスペイン・ポルトガルの領土分割に介入した。

ハ　ローマ教皇パウルス3世は，イエズス会設立を容認し，トリエント公会議を召集した。

ニ　ルネサンス期に学芸を保護したことで知られるフッガー家出身のローマ教皇レオ10世は，ドイツで贖宥状を販売した。

ホ　ローマ教皇ユリウス2世は，九十五カ条の論題を提起したドイツの神学者ルターを破門した。

B　次の空欄 a ～ f に当てはまる最も適切な語句を記せ。(18 点)

1　カロリング朝の［ a ］は，8 世紀半ばにランゴバルド王国を攻撃し，かつて東ゴート王国の首都であった［ b ］などを獲得してローマ教皇に寄進した。

2　14 世紀に“教皇のバビロン捕囚”を経験したローマ=カトリック教会は，さらにその後ローマと［ c ］の 2 カ所に教皇が立てられるという大シスマ，すなわち教会大分裂の時代を経験した。しかし，1414 年に始まった［ d ］公会議により，ローマ教会は再統一された。

3　ローマ教皇ピウス 7 世は，1801 年にフランスのナポレオンとの間で宗教協約（コンコルダート）を結んだ。これと同様の協約は，1929 年にローマ教皇ピウス 11 世とイタリア首相［ e ］との間でも結ばれた。この［ f ］条約によって，1870 年にイタリアが教皇領を占領して以来続いていたイタリア王国とローマ教皇庁との対立が解消された。

ポイント

ローマ教皇に関する世界史上の重要事項について，正誤問題・空欄補充問題の形式で出題した。正誤問題では，正答を 2 つ選ぶことが求められているため，1 つ選ぶタイプの問題より難度が高い。ローマ教皇の名のみにとらわれず，選択肢の隅々まで目を通してほしい。

解　答

A　**1**　**イ・ホ**　　**2**　**ロ・ニ**　　**3**　**ニ・ホ**

B　a　ピピン　　b　ラヴェンナ　　c　アヴィニョン　　d　コンスタンツ
　　e　ムッソリーニ　　f　ラテラノ

解　法

A　正誤問題では，まず**設問の条件をしっかり確認**しよう。今回は「誤りを含むものを 2 つ選べ」という問題であったが，問題に取り掛かる際には，正文と誤文のどちらを選ぶのか，解答は 1 つなのか 2 つなのか，といった点を見落とさないようにしたい。

A－3　**ロ・ハ**の「アレクサンデル 6 世」「パウルス 3 世」といった細かい用語に動揺せずに，まずは**すべての選択肢に目を通して検討しよう**。難関私大入試では，問題文中にしばしば細かい用語が登場するが，基本知識に対する理解が正確であれば正答を導けるものも少なくない。**イ・ニ・ホ**の内容は基本知識であるから，まずはこの 3 つの正誤をしっかり吟味するとよい。次ページの表も参照し，主要な教皇の事績を改めて確認しておこう。

▼著名なローマ教皇

教皇	事績
レオ 1 世（位 440 ～ 61）	ローマに侵入したアッティラを説得
グレゴリウス 1 世（位 590 ～ 604）	ゲルマン人へのキリスト教布教を行う
レオ 3 世（位 795 ～ 816）	カロリング朝のカールに加冠
ヨハネス 12 世（位 955 ～ 64）	ザクセン朝のオットー 1 世に加冠
グレゴリウス 7 世（位 1073 ～ 85）	神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世と聖職叙任権をめぐり争う
ウルバヌス 2 世（位 1088 ～ 99）	クレルモン宗教会議を招集，第 1 回十字軍の提唱
インノケンティウス 3 世（位 1198 ～ 1216）	教皇権の絶頂期，第 4 回十字軍の提唱
ボニファティウス 8 世（位 1294 ～ 1303）	フランス王フィリップ 4 世と争い，アナーニで捕囚される（アナーニ事件）
レオ 10 世（位 1513 ～ 21）	贖宥状の大規模な販売を開始

解　説

A　1　**イ**　初代ローマ教皇は，ガリラヤの漁夫出身でヴァチカンのサン=ピエトロ（＝聖ペテロ）大聖堂にその名が残る**ペテロ**である。**パウロ**は小アジアなど東方各地で伝道を行い，“異邦人の使徒”と呼ばれた。

ホ　ローマ教皇ヨハネス 12 世（位 955 ～ 64）から帝冠を受けて初代神聖ローマ皇帝となったのは，ザクセン朝第 2 代の王**オットー 1 世**（位 962 ～ 73）である。ハインリヒ 1 世（位 919 ～ 36）はザクセン朝初代の王である。

2　**ロ**　1122 年，ローマ教皇カリクストゥス 2 世（位 1119 ～ 24）との間に**ヴォルムス協約**を締結し，叙任権闘争に一応の終止符を打った神聖ローマ皇帝は，**ハインリヒ 5 世**（位 1106 ～ 25）である。神聖ローマ皇帝フリードリヒ 1 世（位 1155 ～ 90）は，イタリアへの遠征や第 3 回十字軍への参加などで知られる。

ニ　カンタベリ大司教の任命をめぐってローマ教皇**インノケンティウス 3 世**（位 1198 ～ 1216）と争ったイギリス国王は，**ジョン王**（位 1199 ～ 1216）である。破門されたジョン王は，内外の政治的危機が迫る中で屈服し，全領土をローマ教皇に献じて許され，改めて封土として受けた。こうしたジョンの失政に対して，貴族は 1215 年に**大憲章**を認めさせた。**ヘンリ 3 世**（位 1216 ～ 72）はジョンの長子で，大憲章を無視したことから貴族の反乱を招いた。

3　**ニ・ホ**　フィレンツェの大金融業者・大商人である**メディチ家**出身の

◀ ここもチェック

ヴォルムスは，神聖ローマ皇帝**カール 5 世**（位 1519 ～ 56）が**ルター**に所説の撤回を迫った 1521 年の帝国議会の開催地としても知られる。

ローマ教皇**レオ 10 世**（位 1513 ～ 21）は，ドイツで贖宥状販売を拡大し，これを批判する**ルター**と対立して彼を破門した。**フッガー家**はアウクスブルクを本拠地とした金融業者である。ユリウス 2 世（位 1503 ～ 13）はルネサンス期の教皇で，芸術を振興した。

B　a・b　ローマ教皇は，フランク王国との結びつきを深め，世俗君主化の傾向を強めた。その発端といえる出来事は，カロリング朝の創始者**ピピン**（位 751 ～ 68）がローマ教皇の要請で 754 ～ 55 年にイタリアの**ランゴバルド王国**を攻撃し，その際に獲得した**ラヴェンナ**などを 56 年にローマ教皇に寄進したことである。これが**教皇領**の起源となった。

c・d　1378 ～ 1417 年の教会大分裂（大シスマ）の時期には，ローマと南フランスの**アヴィニョン**の 2 カ所に教皇庁が存在した。これはフランス国王**フィリップ 4 世**（位 1285 ～ 1314）が，1309 年に教皇庁を**アヴィニョン**に移したことに起因する。その後，1414 ～ 18 年の**コンスタンツ公会議**でローマ=カトリック教会は再統一された。

e・f　イタリア首相の**ムッソリーニ**（任 1922 ～ 43）は，1929 年，ローマ教皇ピウス 11 世（位 1922 ～ 39）との間で**ラテラノ条約**（ラテラン条約）を締結し，**ヴァチカン市国**の成立を認めた。これにより，イタリア王国とローマ教皇庁の和解が成立した。

ここもチェック

ランゴバルド王国は，ピピンの子の**カール大帝**（位 768 ～ 814）によって滅ぼされた。